



**プロフィール** ●1970年生まれ。神戸女子薬科大学卒。薬剤師。東神戸病院などに勤務●95年の阪神・淡路大震災で被災、医療分野で被災者救援に従事●2011年、県会議員に初当選。県議会で健康福祉・文教・産業労働・建設・総務の各常任委員を歴任●東神戸医療互助組合理事、東灘民主商工会顧問、保育所父母の会元会長●渦森台在住。家族は夫、大学生と高校生の女の子



きだ 結 検索 クリック

## 今度こそコロナ封じ込めを——大規模検査が決定的

2度目の緊急事態宣言が2月28日に解除されましたが、感染は早くもリバウンドしており、第4波と言われる状況です。変異株の流行も懸念されます。

ワクチンの効果が社会全体で表れるには一定の時間がかかるとされ、ワクチン頼みになってはいけません。

コロナ封じ込めには無症状感染者を発見・保護するための大規模なPCR検査こそ決定的に重要であり、急務です。しかし兵庫県は消極的です。

きだ結と日本共産党県議団は、▼クラスター発生が多い、高齢者施設、障害者施設、医療機関、学校、保育園などの職員・利用者に頻回・定期的な検査▼感染源となる地域へのモニタリング検査を1日1万の桁に引き上げ、幅

広く行う——などを2・3月県議会で求め、知事にも申し入れました。これらは国が都道府県に要請している方向です。

ワクチンは円滑な接種体制とともに全情報の公開を要求しています。



井戸知事あてにコロナ第12次申し入れ=3月24日



健康福祉常任委員会=3月3日

## コロナから県民の暮らしを守れ——十分な補償を



区内の商店を訪れコロナの影響や営業の現状をお聞きしています。右は松本のり子市議。=2月3日、深江の飲食店

売り上げ激減で家賃も払えない業者、「とうとう仕事がなくなった」という派遣労働者、特にしわ寄せを受ける女性、バイトがなくなり学費が払えない大学生…。

多くの商店や住宅を訪問し、長引くコロナ禍で深刻な暮らしと営業の現状をお聞きしています。皆さんの声を2・3月県議会で届け、県と国に支援を求めています。

▼コロナの影響を受ける全事業者に営業規模や損失に見合う補償、持続化給付金を要件緩和して第2弾を▼時短営業協力金は速やかな支給、規模に応じて営業が続けられる額に▼労働者向け休業支援金の周知徹底、生活困窮者に新たな給付金、学生支援緊急給付金第2弾を——などが必要です。

また、コロナ患者受け入れ病院か非受け入れ病院かに関わらず、全医療機関への減収補てんが強く求められています。

力を合わせて実現しましょう。

お困りごとは

### 日本共産党 に何でもご相談を

東灘事務所

**078-414-8875**

党県議団控室

**078-341-7711**

(県庁代表)

### ついに実現!!

## みんなで食べる 温かい中学校給食 ——直ちに学校調理で実施を

神戸市は中学校給食について3月24日、おかずが冷たい現在のデリバリー方式から、全員給食制の温かい給食に変えると発表しました。今年秋までに基本方針を作るとしています。

長年の市民の願いと運動がついに実りました。きだ結もライフワークとして努力してきました。

今後、実施時期と給食の質・方式が問われます。直ちに小学校のような学校調理の温かい全員給食を実施するよう、世論を大きくしましょう。署名にぜひご協力下さい。



温かい中学校給食を求める署名を市教委に提出。右2人目から、きだ結、森本真市議。3月10日



PTAの皆さんに署名をお願いするため各小中学校を訪問=3月9日、本山第三小学校



小学校で調理して中学校に運ぶ親子方式のモデルを実施。生徒が配膳中。3月22日、向洋中学校



## 4月13日 オープン! こべっこあそびひろば・ 六甲アイランド

お子さんと保護者が、天候に関係なく遊べる室内の広場です。

大型遊具やすべり台を設置した「アリの巣遊具」「船の遊具」、絵本やブロックなどで静かに遊べる「静のあそびひろば」「赤ちゃんのひろば」などがあります。

子育て情報の発信や子育て相談なども行われます。



対象年齢: 就学前の子ども(0~6歳)と保護者

場所: 神戸ファッションプラザ3階

東灘区向洋町中2-9-1

六甲ライナー「アイランドセンター駅」すぐ

時間: 9時30分~17時(入れ替え制)

休日: 木曜日と年末年始

対象年齢: インターネットによる予約と

現地での当日申し込みを併用。

詳細は神戸市ホームページにて。

利用料金: 無料